

平成 30 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人
たてやま・海辺の鑑定団

1. 事業の成果

- (1) 自然環境保全を直接考える事業として、クリーンアップ全国事務局（JEAN）とパルシステム千葉の協力で、平成 30 年 10 月 6 日(土) 館山市沖ノ島にて、調査を視点とした海岸清掃を約 140 人の地域住民や来訪者の参加を得て実施した。それによって海岸に打ちあがるゴミ（人工物）などのデータを作成し、全国レベルでの情報の共有と、地域における環境保全の啓発を図ることができた。
- (2) 地域住民や来訪者に館山市沖ノ島を中心として、様々な地域資源を活かした自然体験プログラムや体験活動を、年間を通じて実施し約 430 人の受入を行なった。 沖ノ島での自然体験プログラム実施においては、プログラムの定期開催化を継続し、宿泊施設等と連携・協力連携し 約 170 人の方々が参加し、地域振興と魅力作りに寄与した。
- (3) 館山体験交流協会や NPO 法人千葉自然学校など協力し、南房総・館山に来訪する学習旅行や修学旅行の小中高校生や各種団体に対して館山市沖ノ島を中心とした自然体験を通した学習プログラムを実施した。延べ約 3,700 人の子どもたちなどに自然の大切さや環境保全に対する啓発を行った。
- (4) 自然環境を考えるきっかけとして、館山市沖ノ島を中心とした北限域のサンゴの観察会（スノーケリング体験）を 7・8 月に実施し、約 800 人の地域住民や来訪者が参加した。
- (5) 釣りを通じた、地域資源開発と環境教育の一環として、釣り体験・釣り教室・釣り大会を、館山周辺の海辺や「館山夕日桟橋」を活用し、主に 4. 5. 6. 月と 9. 10. 11 月に実施した。地域住民や来訪者 85 人が参加した。
- (6) 自然体験を通じた環境啓発活動として、館山市「沖ノ島探検隊」を館山市中央公民館と協力して 7 月 1 日に実施、8 月 24 日に計画し（台風接近により中止）5 人が参加し、地域の魅力を通じた学習を行った。
- (7) エコツーリズムの実践と環境教育の一環として、館山市香地区にて、地域資源を活用したガイドウォーキング・自然観察・ビーチコーミング・食体験を、2 月に計画したが、荒天により中止となってしまい、内部勉強会を行い継続的な地域資源の活用に繋がった。
- (8) 人材育成として、沖ノ島・大房岬・大房岬自然の家をフィールドとして、「海辺の達人養成講座 in 南房総・館山」を平成 31 年 1 月に開催し、地域住民など 5 名が参加した。
- (9) 地域の資源である自然環境の魅力の再認識と環境啓発のためのガイドブック「海辺の生き物語」約 540 冊を、地域の書店や、観光施設、青少年教育施設、自主事業を通じて通年活用した。
- (10) 独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」の助成を受け、「南房総館山沖ノ島の海辺を「守り」

「伝える」ための仕組みづくりによる環境保全・再生の普及啓発活動と実践活動」を行った。

■仕組みづくり：官民連携の「沖ノ島について考える検討会議」を、年5回開催し「仕組みづくり」の必要性を確認、沖ノ島の持続可能な仕組みについて具体提案と行動を行った。

- ・6月に近隣住民の意向調査のためのアンケート約2,400部自治会を通じて配布し、約600部を公民館などで設置し、12月までに260部の回答を得た。目標数には届かなかったが住民の意向を直接確認することが出来た。

- ・11月3日・4日にアマモサミット2018in阪南に1名参加し、エコツーリズムにおける、海辺の環境再生活動についての最新取り組み手法を学んだ。

- ・館山湾と沖ノ島の「里海博」（沖ノ島シンポジウム）を、2019年2月16日に開催し、約240名が参加した。本事業における沖ノ島現状の取り組み老若男女を問わず共有することが出来た。

■普及啓発活動：沖ノ島の自然環境の「大切さ」を多くの人に伝えるための普及啓発活動を行った。

- ・「沖ノ島ルールブック」24,000部作成し主催自然体験活動、館山市、沖ノ島での直接配布などを通じて約19,000部活用し普及啓発活動を行った。

- ・夏季はビジターセンター設置と、アマモ場再生見学体験を14回開催し（66人参加）啓発活動活動に努めた。

■実践活動：沖ノ島アマモ場再生活動を地域住民・来訪者と地域の小学校、延べ約350人が参加する形で行った。

- ・4月に住民向け説明会（40人参加）、

- ・5月に沖ノ島の北側にアマモの苗を約2600株、浅瀬と中間域に約150m²移植した。9月に食害と思われる減少により消失したがノウハウを蓄積した。

- ・5月～6月に花枝採集し熟成（約3,600本）、

- ・9月に種選別会（5万粒）、11月に苗床つくり会（2万粒、プランター100個）、12月に種直播（3万粒）。育苗中の苗は約2,500株育成している。（2019年度に移植予定）

11) 館山市からの委託により「沖ノ島環境保全協力金受付業務」を、7.8月に行い、約190万円の協力金を受付し、沖ノ島の環境保全のための環境整備に貢献した。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
	・環境保全活動	10月6日	沖ノ島	10人	地域住民および来訪者 約140人
	・沖ノ島自然体験	定期開催	沖ノ島など	20人	地域住民および来訪者 約600人
	・体験学習	主に 4.5.6.10 月	沖ノ島	20人	修学旅行・学習旅行の小中高校生および団体 約3,700人

① 自然環境保全に係わる自然体験活動及び環境教育活動に関する事業	・サンゴ観察体験(スノーケリング体験)	7.8月に実施	沖ノ島	20人	地域住民および来訪者 約800人
	・釣り体験活動による環境事業	通年	館山周辺	20人	地域住民および来訪者 84人
	・館山市共催「沖ノ島探検隊」	6月・8月	沖ノ島	2人	地域の子供を中心とした住民 5人
	・地域資源を活用したガイドウォーク・自然観察・ビーチコーミング・	2月	館山市香周辺	6人	地域の住民 6人
	・人材育成事業	1月	沖ノ島・大房岬・大房岬自然の家	5人	地域住民など5人
	・環境啓発	通年	地域の書店 観光施設 青少年教育施設 自主事業	10人	地域住民、来訪者 不特定多数 ・ガイドブック「海辺の生き物語」約540冊活用
	・地球環境基金事業 南房総館山沖ノ島の海辺を「守り」「伝える」ための仕組みづくりによる環境保全・再生の普及啓発活動と実践活動	通年	館山市 沖ノ島	30人	地域住民、来訪者 不特定多数 ・検討会議開催 5回 ・アマモ場再生見学体験 66人 ・リーフレット活用枚数 19,000枚 ・アマモ場再生活動延べ350人
	沖ノ島環境保全協力金受付業務委託	7.8月	館山市沖ノ島周辺	延べ約 80人	沖ノ島への来訪者全般